

【浦添市】

ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

令和5年11月に実施した独自調査（簡易帯域測定）では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）に示されているネットワーク速度を確保できている学校は、小学校8校、中学校3校の合計11校（小中学校合計16校）だった。学校全体に占める割合として、68.8%を占める割合となっている。

また、同時期に実施した「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」では、「学校のネットワークが遅い、繋がりにくいと感じることはあるか」との質問に対する回答では、「ほとんどない」6校（37.5%）、「たまにある」8校（50%）、「よくある」2校（12.5%）だった。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

本市では、上記調査でネットワークが遅い、繋がりにくいと感じている一部の学校において、校内LAN保守運用を行っている事業者と連携して調査を行い既に課題を特定しており、改善に向けて取り組んでいるところである。また他の学校においても同事業者との連携や教育委員会職員による学校の現地調査等の実施により、令和8年度中にネットワーク速度の確保に向けたネットワークアセスメントを実施する。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

学校現場の意見や、校内LAN保守運用事業者との連携、ネットワークアセスメントの結果を踏まえ順次改善策の検討を開始し、令和9年度までに対象校における改善策を完了させる。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

ネットワークアセスメント実施後、校内のネットワーク機器等に問題がある場合は、機器の更新を計画的に行っていく。また、現在契約している回線は、1GBベストエフォート回線だが、通信サービス契約内容や学校所在地域における回線利用率等、学校外の環境が原因の場合、改善方法としては通信回線の変更等が考えられる。他の改善策も検討しながら通信契約の変更も視野に入れ、令和10年度までに必要なネットワーク速度の確保に取り組む。